

政策シート (政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、国内外の販路開拓を推進することで、雇用の創出と所得の向上による農林水産業の持続的発展を図る。
また、多面的機能を有する農業の基盤整備の推進を図るとともに、フルーツパークの管理運営を通じ、果樹農業振興と地域の発展を図る。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	--------	----------	--------	-------	-------

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	205,602	232,917				
決算	196,203					
人件費(A)	60,070	55,310				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	256,273	288,227				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
浜松市未来を拓く農林業育成事業費補助金 実施事業数(H27～累計)(件)	件	目標	28	43	58	73	88	103
		実績	29					
フルーツパーク入園者数	人	目標	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
		実績	270260					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、国内外の販路開拓を推進することで、雇用の創出と所得の向上による農林水産業の持続的発展を図る。
また、多面的機能を有する農業の基盤整備の推進を図るとともに、フルーツパークの管理運営を通じ、果樹農業振興と地域の発展を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
------	------

6次産業化・農商工連携事業を支援する「浜松市未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」制度により事業者の支援を行い、本市の農林水産物の高付加価値化、ブランド化を推進することができた。今後も、事業の進捗管理などを積極的に行い農業の所得向上を図る。
また、フルーツパークにおいては、指定管理者制度による民間事業者のノウハウを最大限に活用し、果樹農業の振興を図ることができた。一方、施設の老朽化も進んでいることから、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を図る。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	もうかる農業推進事業	○	○	○		64,725	51,065	1.9	0.1		
2	西部農業共済組合支援事業 (負担金)					9,116	8,766	0.1			
3	フルーツパーク管理運営事業					171,158	166,608	0.7			
4	農業政策運営経費					43,228	6,478	5.3			
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						288,227	232,917	7.9	0.1		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
01 02 03 01 001711000 01

(担当課)
農業水産課

(責任者)
河野 和世

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) もうかる農業推進事業

◇事業目的・事業対象

農商工連携・6次産業化推進事業により、農林漁業の新たな価値の創出や付加価値の向上、販路拡大を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.46】

1 農商工連携・6次産業化推進事業

「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業の実施

- ①食と農林漁業の新たな事業創出・育成の助成及び支援業務委託
- ②元気な農林水産業活動の助成

2 海外等販路開拓支援事業

国際食品見本市「フードタイプ」及び「フードエキスポ2019」への共同出展。三遠南信連携による販路開拓事業等

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H26	—	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	39,380	51,065				
	決算	33,989					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	33,989	51,065				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		31,160	13,660				
人工	正規	4.4	1.9				
	再任用(h31)	0.1	0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓	○ 2.1、2.4	⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	○ 12.2
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用	○ 8.3	⑰実施手段	
⑨イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農商工連携・6次産業化による農林漁業の新たな付加価値を創出し、国内外への新たな販路拡大へ繋げる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜松市未来を拓く農林漁業育成事業費補助金実施事業数(H27~累計)(件)					I-1(1)ウ		46
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		28	43	58	73	88	103
実績値	15	29					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
輸出成約事業者数					I-1(2)ウ	I-1(2)ウ	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値		14	16	18	20	22	24
実績値	13	14					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜松市未来を拓く育成事業費補助金 申請件数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	80	100	120	140	160	180	200
実績値	74	96					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
商談会などにおける成約件数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	5	5					
実績値	7	7					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.46】

1 農商工連携・6次産業化推進事業

(1)「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業の実施

①食と農林漁業の新たな事業創出・育成の助成及び支援業務委託 ②元気な農林水産業活動の助成

(2)海外販路開拓支援事業

台湾、香港等への輸出促進事業、三遠南信連携による販路開拓事業(マレーシア)等

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

1 農商工連携・6次産業化推進事業

(1)「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業の実施

令和元年度の取組み件数は、①食と農林漁業の新たな事業創出・育成(5件)、②元気な農林水産業活動(9件)事業者への進捗管理に向け委託による事業支援も積極的に実施した。

(2)海外販路開拓支援事業

浜松市農林水産物・食品輸出促進委員会を中心に食品展示会や商談会、販売プロモーション事業を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

1 農商工連携・6次産業化推進事業

「未来を拓く農林漁業育成事業費補助金」事業は4年目となり、農商工連携のモデルとなるような事業も出てきている。海外販路開拓事業は、事業を通じて、関係事業者との信頼関係の構築や意向のある事業者の把握などができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

1 農商工連携・6次産業化推進事業

補助制度は、1次産業者の所得向上に繋がる事業となるよう事業実施方法を見直し実施する。海外販路開拓事業は産業や観光などと連携しながら効果的な事業展開を検討するとともに、事業者の自立化に向けた輸出への支援方策について検討する。

補助シート (事業名) もうかる農業推進事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
46	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施 3 海外販路開拓支援事業	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施 3 海外販路開拓支援事業	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施 3 海外販路開拓支援事業	【農商工連携・6次産業化推進事業】 1 未来を拓く農林漁業育成事業費補助金の交付 2 フォローアップの実施 3 海外販路開拓支援事業
〇〇				

事業シート (事業名) 西部農業共済組合支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

西部農業共済組合支援事業により、多様な主体による農業振興を図る。

◇事業の概要

農業災害補償法に基づき、地域農業者の農業災害補償に関する保険事業等を実施する静岡県西部農業共済組合に対する負担金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	8,766	8,766				
	決算	8,766					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	8,766	8,766				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		350	350				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓	○ 2.1、2.4	⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	○ 12.2
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用	○ 8.3	⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

気候関連災害や自然災害から農業者を守り、経営の安定化を図る。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

西部農業共済組合支援事業(負担金)

・事業の成果と課題

指標の達成度

農業災害補償法に基づき、地域農業者の農業災害補償に関する保険事業等を実施する静岡県西部農業共済組合に対し負担金を支出することで、市内農家の経営安定化を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

7市1町で組織するNOSAI事業運営連絡協議会において決定する負担金額に基づき、負担金を支出。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

農業災害補償法に基づき、地域農業者の農業災害補償に関する保険事業等を実施するものであるため、継続して事業を行う必要がある。

事業シート (事業名) フルーツパーク管理運営事業

◇事業目的・事業対象

フルーツパークの施設を適切に管理・運営することで、果実をはじめとする地域の農産物に親しみ、理解を深めることができる場をつくとともに、果樹農業及び地域の活性化を図る。

◇事業の概要

1 フルーツパーク管理運営事業

(1) フルーツパークの魅力を活かし、来園者が安全で安心して楽しめるよう指定管理者による管理運営に対する指導を行う。

(2) フルーツパーク内の市所有の果樹や展示温室等の適正な管理及び市の責務による施設等の維持管理を図るため、委託及び修繕工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	153,785	166,608				
	決算	151,074					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	151,074	166,608				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		4,550	4,550				
人工	正規	0.7	0.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.1、2.4	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

持続可能な農業を促進する社会的な下地を醸成することを視野に、果樹農業の振興及び理解を深める場を提供する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
フルーツパーク入園者数(人)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000
実績値	310949	270260					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

1 フルーツパーク管理運営事業

- (1)フルーツパークの魅力を活かし、来園者が安全で安心して楽しめるよう指定管理者による管理運営に対する指導を行う。
- (2)フルーツパーク内の市所有の果樹や展示温室等の適正な管理及び市の責務による施設等の維持管理を図るため、委託及び修繕工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

指定管理者から提案のあった自主事業は計画どおり履行されており、指定管理者のノウハウを活かした運営が行われた。

また、天竜浜名湖鉄道など地元企業等と連携し事業を展開するなど、新たな魅力の発信と顧客を増やす取り組みを積極的に実施している。

さらに、東側果樹園においては、自主事業によるイチゴ園を12月から5月まで実施し、露地の果樹がない時期の充実をはかるなど、来園者が年間を通じて「食」と「農」を楽しめるパークづくりが進められた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

指定管理者による管理の運営状況について事後評価を行い公表するとともに、指定管理者との連絡・相談体制の強化を図り、施設の管理に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

指定管理者制度による事後評価を行い、利用者のサービス向上と施設の安全で安心な管理運営に繋げる。

事業シート (事業名) 農業政策運営経費

◇事業目的・事業対象

農業水産課の一般諸経費

◇事業の概要

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査及び許認可事務を行う。また、森林組合及び内水面漁協の常例検査を実施し、検査の報告徴収により、所管組合の業務及び財務状況を的確に把握し、業務改善等の個別指導を行うことで、関係法令の遵守への取組みを図る。

また、農産物品評会等における市長表彰による作物の高品質化や技術向上への取組みに対する意識の高揚や、農林水産関係情報発信事業を積極的に行い、市内農林水産の消費拡大に努めるとともに、農業振興協議会の開催により、農業振興施策の充実を図る。

併せて、公共施設等において市内産の花のPRを行うことで、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が減少している花の需要喚起及び消費拡大を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	3,671	6,478				
	決算	2,374					
	国・県支出		458				
	市債						
	その他						
	一般財源	2,374	6,020				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		24,010	36,750				
人工	正規	3.2	5.3				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.7					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.1、2.4	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.2
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農林水産業者の意識向上による技術の向上や、市民の農林水産への関心の向上による作物の高品質化・消費拡大により、農林水産業が成長すること。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査及び許認可事務を行う。また、森林組合及び内水面漁協の常例検査を実施し、検査の報告徴収により、所管組合の業務及び財務状況を的確に把握し、業務改善等の個別指導を行うことで、関係法令の遵守への取組みを図る。
また、農産物品評会等における市長表彰等により、作物の高品質化や技術向上の取組に向けた意識の高揚を図り、また、農林水産関係情報発信事業を積極的に行い、市内農林水産物の消費拡大に努める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

農業協同組合法、森林組合法及び水産業協同組合法の規定に基づき、農業協同組合、森林組合及び水産業協同組合の業務及び会計処理の状況を合法性、合目的性及び合理性の観点から検証し、経営状況等を的確に把握することで、組合に対する個別指導を適正に実施した。
また、民間専門人材を活用することで、農業労働力の確保やスマート農業推進に係る課題整理や新たな施策の方向性を検討した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査は、検査対象団体の経営の健全性や業務経営の適正性の確保が重要であることから、指導部局と検査部局との連携を密にした実施体制の推進を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

農業協同組合法、水産業協同組合法及び森林組合法に基づく検査等の事務は、静岡県からの移譲事務であり継続して行う必要がある。また、情報発信事業の推進を図り、市民及び農業者に対し、農林水産業の魅力や市の施策を周知する。

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 畜産振興推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

畜産物の品質や生産性の向上のため、近代化、効率化を推進する。また、家畜衛生の向上を図り、周辺環境に配慮した畜産経営ができるよう環境対策に必要な設備・機械等の整備や衛生対策を推進する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑥水・衛生								
-----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	55,083	9,910				
決算	48,770					
人件費(A)	20,340	21,740				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	69,110	31,650				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
特定家畜伝染病発生件数(件)	件	目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0					
1戸あたりの牛・豚平均飼養頭数(頭)	頭	目標	395	400	420	434	450	462
		実績	310					
1戸あたりの採卵鶏・ブロイラー平均飼養羽数(千羽)	千羽	目標	40	42	44	45	50	53
		実績	34					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

畜産物の品質や生産性の向上のため、近代化、効率化を推進する。また、家畜衛生の向上を図り、周辺環境に配慮した畜産経営ができるよう環境対策に必要な設備・機械等の整備や衛生対策を推進する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・ 畜産農家戸数は減少しているものの、畜産業振興事業等を通じて概ね飼養頭数の維持ができています。
- ・ 家畜衛生対策の実施により、法定家畜伝染病の発生を防止できた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	畜産環境・衛生対策支援事業					18,580	7,360	1.5	0.2		
2	畜産振興支援事業					10,088	2,368	1.0	0.2		
3	畜産振興運営経費(一般諸経費のみ)					2,982	182	0.4			
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						31,650	9,910	2.9	0.4		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 畜産環境・衛生対策支援事業

◇事業目的・事業対象

家畜伝染病の発生及びまん延防止を推進することで、家畜衛生の向上及び健全かつ安定的な畜産経営を図る。また、畜産経営に起因する悪臭や衛生害虫の発生を防止することで、家畜飼養環境を改善するとともに地域環境の保全を図り、併せて地域住民との調和を図る。

◇事業の概要

- ・畜産衛生事業(悪臭防止対策事業)
家畜排せつ物の処理施設・機械の整備に要する経費の一部を補助する。また、ハエ等の畜産衛生害虫の防除用資材を無償配付する。
- ・畜産衛生事業(死亡獣畜処理対策事業)
死亡獣畜の適正処理は家畜伝染病のまん延防止の重要な要因であるため、畜産農家にとって経済的な負担の大きい死亡獣畜の収集運搬処理に要する経費の一部を補助し、適正処理を推進する。
- ・家畜防疫対策事業
家畜防疫の円滑な推進を図るため、各種研修会等に参加し、情報の収集、伝達、啓発を行う。
- ・消費・安全対策事業
伝染性疾病・病害虫の発生予防・まん延防止のため、地域における車両消毒施設整備等に係る費用を補助する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務	浜松市畜産衛生事業費補助金	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,860	7,360				
	決算	4,675					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	4,675	7,360				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		8,060	11,220				
人工	正規	1.1	1.5				
	再任用(h31)	0.1	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3, 2.4	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ② 農業生産性、農業所得、持続可能性を向上する
- ⑥ 環境衛生の向上による水質改善を図る

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
特定家畜伝染病発生件数(件)					-	-	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	0	0	0	0	0	0	0
実績値	0	0					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①畜産環境・衛生対策支援事業 [決算4,675千円]
 ・畜産衛生事業(悪臭防止対策事業)
 家畜排せつ物の処理施設・機械の整備に要する経費の一部を補助する。また、ハエ等の畜産衛生害虫の防除用資材を無償配付する。
 ・畜産衛生事業(死亡獣畜処理対策事業)
 死亡獣畜の適正処理は家畜伝染病のまん延防止の重要な要因であるため、畜産農家にとって経済的な負担の大きい死亡獣畜の収集運搬処理に要する経費の一部を補助し、適正処理を推進する。
 ・家畜防疫対策事業
 家畜防疫の円滑な推進を図るため、各種研修会等に参加し、情報の収集、伝達、啓発を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 ・畜産業に起因する悪臭苦情はあるものの、環境部局や関係機関と連携し、解決に向け畜産農家とともに改善を重ねており、令和元年度も取り組むことができた。
 ・死亡獣畜の不適切処理が原因とみられる家畜伝染病のまん延や放置死体が他動物のエサとなるなどの公衆衛生の低下に関連した事例が近年発生しておらず、令和元年度も発生しなかったことから、一定の成果が認められる。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・特定家畜伝染病が他県の農場で発生したにも関わらず、市内農場での発生の未然防止が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・令和元年度は本市においても野生イノシシで豚熱が発生した。近隣諸国では鳥インフルエンザや口蹄疫、アフリカ豚熱の発生が確認されており、今後も継続した家畜防疫の徹底を周知する。
・環境対策は解決には時間がかかるものの、全国の優良事例など積極的に情報収集に努めつつ、引き続き関係部局と連携した取り組みを継続する。また、悪臭防止対策事業の全体事業費の増額により、より多くの農家に対して積極的な対策を推進していく。

事業シート (事業名) 畜産振興支援事業

◇事業目的・事業対象

生産性の向上あるいは畜産物の品質向上のため、家畜の改良増殖や飼養技術の向上を推進し、畜産業の近代化、大規模化を推進する。

◇事業の概要

- ・畜産振興協議会等に対する支援(負担金)
畜産振興に係る協議会が実施する各種事業を支援する。
- ・畜産業振興事業
乳牛の導入事業及び凍結精液を使用した乳牛の繁殖事業に要する経費の一部を補助する。また、各種研修会、視察等に参加し、そこで得た有益情報を市内畜産農家へ提供し共有化を図る。
- ・畜産共進会出品の奨励
家畜の改良増殖、飼養管理技術の向上及び消費者への啓発を目的としている静岡県畜産共進会への出品を支援する。
- ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業
畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、飼養規模の拡大や飼養管理の改善を図るために整備する家畜飼養管理施設等や貸し付ける家畜の導入に係る経費を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H18	-	一般会計	自治事務	浜松市畜産業振興事業費補助金交付要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	49,977	2,368				
	決算	43,879					
	国・県支出	41,835					
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	2,044	2,368				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		8,780	7,720				
人工	正規	1.1	1.0				
	再任用(h31)	0.3	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3, 2.4	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

② 農業生産性、農業所得、持続可能性を向上する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
1戸あたりの牛・豚平均飼養頭数(頭)					-	-	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	382	395	400	420	434	450	462
実績値	331	310					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
1戸あたりの採卵鶏・ブロイラー平均飼養羽数(千羽)					-	-	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	39	40	42	44	48	48	53
実績値	35	34					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

<p>①畜産振興支援事業 [決算43,879千円]</p> <ul style="list-style-type: none"> 畜産振興協議会等に対する支援(負担金) 畜産振興に係る協議会が実施する各種事業を支援する。 家畜飼養技術改善指導 乳牛の導入事業及び凍結精液を使用した乳牛の繁殖事業に要する経費の一部を補助する。また、各種研修会、視察等に参加し、そこで得た有益情報を市内畜産農家へ提供し共有化を図る。 畜産共進会出品の奨励 家畜の改良増殖、飼養管理技術の向上及び消費者への啓発を目的としている静岡県畜産共進会への出品を支援する。 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 畜産クラスター計画に位置づけられた中心的な経営体に対し、飼養規模の拡大や飼養管理の改善を図るために整備する家畜飼養管理施設等や貸し付ける家畜の導入に係る経費を支援する。

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="遅れている"/></p> <ul style="list-style-type: none"> 飼料代高騰など経費の急増を余儀なくされ、畜産農家の負担は年々増加している。また、後継者不足などで畜産農家戸数の維持が難しくなる中で、飼養頭数はある程度維持されていることから、一定の事業効果は認められる。 初乳牛及び肉用素牛の高騰が続いていることから、更なる支援により規模拡大や飼養頭数の増加、繁殖経営への転換などを推進していく必要がある。 豚熱等の防疫対策で養豚農家の作業負担や経済的負担が増加していることから、更なる支援により負担軽減と飼養頭数の増加を推進していく必要がある。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業実施により、飼養頭数が概ね維持できている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・畜産農家戸数が減少している中、畜産物の供給を維持するためには引き続き事業実施が必要である。
・初乳牛及び肉用素牛価格が高騰しているため、浜松市畜産業振興事業費補助金での更なる支援を実施する。
・豚熱等の防疫対策で養豚農家の作業負担や経済的負担が増加していることから、浜松市畜産業振興事業費補助金での更なる支援を実施する。

事業シート (事業名) 畜産振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	246	182				
	決算	216					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	216	182				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		3,500	2,800				
人工	正規	0.5	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 農業農村振興推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

浜松市民に対し、安全で安心な農産物を安定提供するために、必要不可欠な農業生産基盤の整備を推進し、良好な維持管理を継続的に実施する。
併せて、土地改良施設や農地の有する多面的機能を維持・発揮させるため、都市住民など地域外住民との交流を通じた活動への参加促進等を図り、新たな農村像について積極的に情報を発信する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑥水・衛生	⑩イノベーション							
-----	-------	----------	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	2,218,308	2,068,053				
決算	1,953,099					
人件費(A)	159,990	160,470				
報酬(B)	6,638					
年間経費(予算又は決算+A+B)	2,119,727	2,228,523				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
農地・水保全(多面的機能)管理支払交付金 取組全体面積(ha)	ha	目標	5000	4100	4400	4700	5000	5300
		実績	4014					
農業基盤整備国庫補助事業による農道整備延長(m)	m	目標	1180	1,180	1,180	1,180	1,180	1,180
		実績	750					
農業基盤整備国庫補助事業による用排水路整備延長(m)	m	目標	1870	1350	1350	1350	1350	1350
		実績	1346					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

浜松市民に対し、安全で安心な農産物を安定提供するために、必要不可欠な農業生産基盤の整備を推進し、良好な維持管理を継続的に実施する。
併せて、土地改良施設や農地の有する多面的機能を維持・発揮させるため、都市住民など地域外住民との交流を通じた活動への参加促進等を図り、新たな農村像について積極的に情報を発信する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
------	-------

多面的機能支払交付金においては、令和元年度に新規2地区の拡大を計画し、地元調整の結果、令和2年度から新規1地区の認定をした。また1地区については着手を見送った。
農業基盤整備国庫補助事業においては、令和元年度完了を目指したが、地元調整の遅延により、一部工事を次年度へ持越となったため、目標に達することができなかった。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	天竜川下流用水協議会等支援事業					13,580	3,990	1.25			0.3
2	国・県施行事業	○	○	○		154,852	136,652	2.60			
3	農業農村整備支援事業			○		248,517	216,157	4.00	0.2		1.3
4	農業農村整備償還助成事業					506,527	503,167	0.40			0.2
5	かんがい排水整備事業	○	○			231,853	216,803	1.95			0.5
6	農道整備事業	○	○			139,250	128,610	1.40			0.3
7	農業農村施設維持管理事業					269,946	220,516	5.05	0.8		4.0
8	農業基盤整備国庫補助事業	○	○			37,200	34,400	0.40			
9	基幹水利施設維持管理事業					614,109	603,749	1.40			0.2
10	ふるさと・水と土基金積立金					700		0.10			
11	春野地域自治区水窪ダム取水 工事補償基金積立金					281	1				0.1
12	農業農村振興運営経費(一般 諸経費のみ)					11,708	4,008	0.70			1.0
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						2,228,523	2,068,053	19.25	1.0		7.9

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

令和2年度

(管理番号)
01 02 03 03 001720000 01

(担当課)
農地整備課

(責任者)
前田 英和

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 天竜川下流用水協議会等支援事業

◇事業目的・事業対象

農業総合整備事業の円滑な推進と技術向上を目的に、各土地改良事業関係団体に対し負担金を納入する。

◇事業の概要

生産性の高い農業の育成と活力ある農村社会の創設を目的とする静岡県土地改良事業団体連合会等の各土地改良事業関係団体に対し、規約等に定められた浜松市の負担金を納入する。

- ・天竜川下流用水協議会負担金
- ・静岡県土地改良事業団体連合会負担金
- ・西遠土地改良事業推進協議会負担金
- ・浜松市農業農村整備事業連絡協議会負担金
- ・ふじのくに美しく品格のある邑連合負担金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	-	一般会計	自治事務	各協議会規約	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	4,153	3,990				
	決算	3,916					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	3,916	3,990				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		8,620	9,590				
人工	正規	1.1	1.25				
	再任用(h31)	0.1					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.2	0.3				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農地や土地改良施設の整備推進により、インフラの強靱化を進め、水利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
事業目的に沿った事業が実施され、浜松市の事業運営に役立ったか(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

生産性の高い農業の育成と活力ある農村社会の創設を目的とする静岡県土地改良事業団体連合会等の各土地改良事業関係団体に対し、規約等に定められた浜松市分の負担金を納入する。

- ・天竜川下流用水協議会負担金
- ・静岡県土地改良事業団体連合会負担金
- ・西遠土地改良事業推進協議会負担金
- ・浜松市農業農村整備事業連絡協議会負担金

・事業の成果と課題

指標の達成度

静岡県土地改良事業団体連合会や天竜川下流用水協議会等の土地改良事業団体に対して、規約等で定められた当市分の負担金を納入した。
また、各協議会に参加することで、土地改良事業に関する技術習得や情報収集のほか、他市町・土地改良団体との意見交換を行うことができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

各協議会において、事業内容の見直し等改善がなされており、現在改善すべき点は見当たらない。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

各協議会への負担金は、参加団体との調整が必要で、市で一方向的に負担金額を見直すことはできない。
改善が必要な事項は、その都度、各協議会の総会・役員会等で提言していく。

事業シート (事業名) 国・県施行事業

◇事業目的・事業対象

市の要望等により国や県が実施する事業に対して、市が負担金を支出し農業の生産性向上と経営基盤の安定を図る。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.48】

①県単独農業農村整備調査事業(負担金)

県営土地改良事業の実施に向けて静岡県が行う調査、測量、設計及び計画概要書の作成に要する事業費に対し負担金を支出するもの。

[負担割合: 県50% 市50%]

②県営土地改良事業(負担金)

農業・農村の活性化や農業生産性の向上等を図るため、国・県の財源を活用し、条件不利地域の農業・農村の活性化、幹線用水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化、土地改良施設の防災・減災対策等の県営による農業農村整備事業に対し負担金を支出するもの。

[負担割合 工事費 国:50~55% 県:25~40% 市:5~25%]

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	一般会計	自治事務	整備事業に関する協定書	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	232,572	136,652				
	決算	212,991					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	212,991	136,652				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		17,500	18,200				
人工	正規	2.5	2.6				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農地や土地改良施設の整備推進により、インフラの強靱化を進め、水利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
国・県施行各事業の毎年度達成率(%)					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
農業用水利施設の長寿命化・耐震対策実施箇所数					-		48
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	12/39	21/39	21/39	21/39	24/39	24/39	26/39
実績値	12/39	21/39					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.48】

①県単独農業農村整備調査事業(負担金)

県営土地改良事業の実施に向けて静岡県が行う調査、測量、設計及び計画概要書の作成に要する事業費に対し負担金を支出するもの。

[負担割合:県50% 市50%]

②県営土地改良事業(負担金)

農業・農村の活性化や農業生産性の向上等を図るため、国・県の財源を活用し、条件不利地域の農業・農村の活性化、幹線用水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化、土地改良施設の防災・減災対策等の県営による農業農村整備事業に対し負担金を支出するもの。

[負担割合 工事費 国:50~55% 県:25~40% 市:5~25%]

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

市の事業要望を受け、県営土地改良事業による幹線用水路などの基幹的農業水利施設の長寿命化、土地改良施設の防災・減災対策等が実施され、農業基盤の強化が図られた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市負担金の平準化のため、緊急性及び必要性を考慮し、優先度の高い事業について、事業化を国・県へ要望している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市負担額の平準化を考慮しつつ、事業実施について、引き続き国・県へ要望していく。

令和2年度

(管理番号)
01 02 03 03 001720000 02(担当課)
農地整備課(責任者)
前田 英和(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日**補助シート** (事業名) 国・県施行事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
48	<ul style="list-style-type: none">・排水機場長寿命化対策工事(4箇所)・ため池地震対策工事(5箇所)・排水機場耐震対策工事(7箇所)・対策完了(5箇所)	<ul style="list-style-type: none">・排水機場長寿命化対策工事(3箇所)・ため池地震対策工事(5箇所)・排水機場耐震対策工事(7箇所)・対策完了(6箇所)	<ul style="list-style-type: none">・排水機場長寿命化対策工事(1箇所)・ため池地震対策工事(4箇所)・排水機場耐震対策工事(7箇所)・対策完了(10箇所)	<ul style="list-style-type: none">・排水機場長寿命化対策工事(3箇所)・排水機場耐震対策工事(6箇所)・対策完了(15箇所)

事業シート (事業名) 農業農村整備支援事業

◇事業目的・事業対象

各土地改良事業の関係団体を育成支援するため、事業団体の管理運営経費・事業費に対して助成を行う。

◇事業の概要

①土地改良区施設整備助成事業(補助金)

土地改良事業及び土地改良施設の維持管理をする土地改良区等に対して、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、また農産物等の浸水被害の防止を図るための補助金。

②多面的機能支払交付金事業

市から認定を受けた、農業者や非農業者により構成された活動組織が取り組む、農用地や農業用施設及び農村環境の保全管理活動に対し支援を行うもの。[事業負担割合 国:50% 県:25% 市:25%]

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S45	-	一般会計	自治事務	農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	197,739	216,157				
	決算	197,636					
	国・県支出	144,416	155,267				
	市債						
	その他						
	一般財源	53,220	60,890				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		32,220	32,360				
人工	正規	3.9	4.0				
	再任用(h31)	0.9	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.6	1.3				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農地や土地改良施設の整備推進により、インフラの強靱化を進め、水利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
農地・水保全管理(多面的機能)支払交付金 取組全体面積(ha)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	4900	5000	4100	4400	4700	5000	5300
実績値	4498	4014					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①土地改良区施設整備助成事業(補助金)
土地改良事業および土地改良施設の維持管理をする土地改良区等に対して、農業の生産性の向上、農業総生産の増大、また農産物等の浸水被害の防止を図るための補助金

②農地・水保全管理(多面的機能)支払交付金事業
市から認定を受けた、農業者や非農業者により構成された活動組織が取り組む、農用地や農業用施設及び農村環境の保全管理活動に対し支援を行うもの。[事業負担割合 国:50% 県:25% 市:25%]

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

①各土地改良事業団体を育成支援するために管理運営等に要する経費に対しての助成を行ったことにより、土地改良事業の円滑な推進が図られた。

②当初1地区の新規取り組みを予定していたが、地元調整の結果、実施見送りとなった。また、平成30年度をもって4地区の組織が多面的機能支払交付金の交付団体としての登録を廃止し、自立したことから、令和元年度の実績値は減となった。

事業実施地域では、地域の市民協働による農地や農業施設の保全管理活動が実施された。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

国の制度改革により、交付金手続きが市の業務に移行し負担が増加したが、推進交付金を活用した外部委託により、人工を現状に抑えた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

農業農村の多面的機能を維持・発揮するため、保全管理活動を取り組む組織の拡大を図るための普及啓発を図っていく。

事業シート (事業名) 農業農村整備償還助成事業

◇事業目的・事業対象

農道や用排水施設整備等の土地改良事業の実施のため、土地改良区等が株式会社日本政策金融公庫等から借入れた事業資金の償還に対して助成することにより、農業生産基盤の整備促進を図る。

◇事業の概要

土地改良区等が施行する各種土地改良事業の事業資金の償還に対して補助金を交付することにより、土地改良区等の健全な運営を支援し、農業基盤の整備や施設の維持保全に努める。

- ①土地改良助成事業
- ②基幹農道整備助成事業
- ③県営ため池等整備助成事業
- ④県営かんがい排水助成事業
- ⑤県営基幹水利施設補修助成事業
- ⑥団体営基盤整備促進助成事業
- ⑦天竜川下流用排水土地改良助成事業
- ⑧県営畑地帯総合土地改良助成事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S30	-	一般会計	自治事務	市土地改良事業償還費補助金交付要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	474,456	503,167				
	決算	473,517					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	473,517	503,167				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		2,800	3,360				
人工	正規	0.4	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.2				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農地や土地改良施設の整備推進により、インフラの強靱化を進め、水利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

土地改良区等が施行する各種土地改良事業の事業資金の償還に対して補助金を交付することにより、土地改良区等の健全な運営を支援し、農業基盤の整備や施設の維持保全に努める。

- ①土地改良助成事業
- ②基幹農道整備助成事業
- ③県営ため池等整備助成事業
- ④県営かんがい排水助成事業
- ⑤県営基幹水利施設補修助成事業
- ⑥団体営基盤整備促進助成事業
- ⑦天竜川下流用水土地改良助成事業
- ⑧県営畑地帯総合土地改良助成事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

①～⑧各助成事業

借入金の償還補助により、土地改良区の健全な運営を支援し、農業基盤の整備や施設の維持保全に努めることができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

農道や用排水施設整備など農業基盤の整備及び土地改良施設の維持保全等のため、各土地改良区の借入金の償還が完了するまで継続して、支援していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・償還期間短縮の継続。
- ・国営三方原用水二期附帯県営事業の実施による事業費の増加が見込まれる。

事業シート (事業名) かんがい排水整備事業

◇事業目的・事業対象

農地に必要な用水を供給(かんがい)するとともに、不必要な水を速やかに排除(排水)する施設を整備して、農産物の生産性を高め、農地を守る。

◇事業の概要

- ①かんがい排水整備国庫補助事業
市内34か所のため池のうち、防災重点ため池18か所の耐震・豪雨調査及びハザードマップ作成を行う。
- ②かんがい排水整備県補助事業
静岡県単独による振興山村地域及び過疎地域等を対象とした補助事業を活用し、かんがい排水路の整備を実施する。(県50%、市50%)
- ③かんがい排水整備単独事業
国・県の補助事業の対象とならない小規模な農業用水路の改良工事及び漏水等の維持修繕工事等を実施する。
- ④農業水利施設ストックマネジメント調査事業
農業水利施設の効率的・計画的な更新のため、施設の劣化状況を調査し、機能診断評価に基づく農業水利施設長寿命化計画を策定することで、施設のライフサイクルコストの最小化や農業用水の安定供給を図る。
- ⑤馬込川掃流用水調査事業
馬込川河口部の堆砂状況の調査により、データを蓄積し水収支計算等に反映させることで、馬込川掃流用水の水利権更新協議の円滑な実施を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S24	-	一般会計	自治事務	震災対策農業水利施設整備事業実施要綱	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	363,109	216,803				
	決算	163,242					
	国・県支出	9,000	15,000				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	154,242	201,803				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		15,100	15,050				
人工	正規	1.9	1.95				
	再任用(h31)	0.5					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.5				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

土地改良施設の整備推進により、インフラの強靱化を進め、水利利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
用排水路の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①かんがい排水整備国庫補助事業
防災重点ため池18池のうち、1池の耐震対策調査と、4池の豪雨対策調査を行う。(国100%)

②かんがい排水整備単独事業[決算143,818千円(うち前年度繰越4,833千円)]
国・県の補助事業の対象とならない小規模な農業用水路の改良工事及び漏水等の維持修繕工事等を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

老朽化が進む農業用排水路の修繕及び改良工事を実施したことにより、農業施設の維持保全と老朽化対策が図られ、農業用水の安定供給と良好な排水機能の発揮により、農産物の生産向上と経営の安定が図られた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

優先箇所を選定し、老朽化が進む農業用排水路の補修・改良工事を予算の範囲内で実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

老朽化が進む農業用排水路の維持修繕の優先箇所を選定し、補助事業等の活用も含め負担軽減を図りつつ対策工事を進める。

事業シート (事業名) 農道整備事業

◇事業目的・事業対象

農業振興地域内において農道の整備を実施し、農産物輸送の合理化と農業経営の安定を図る。

◇事業の概要

①農道整備県補助事業

静岡県単独による振興山村地域及び過疎地域等を対象とした補助事業を活用し、農道整備を行い、農業機械の搬入による生産性向上及び農作物輸送による荷痛み等を防止し農業経営の安定を図る。(県:50%、市50%)

②農道整備市単独事業

国・県の補助事業とならない小規模な農道の整備工事および路面補修等の維持修繕工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S24	-	一般会計	自治事務	県単独農業農村整備事業費等補助金交付要綱	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	117,869	128,610				
	決算	114,191					
	国・県支出	31,030	26,500				
	市債	31,000	52,500				
	その他	1,900	2,000				
	一般財源 一般会計繰入金	50,261	47,610				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		10,880	10,640				
人工	正規	1.4	1.4				
	再任用(h31)	0.3					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.3				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓	○ 2.3	⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.4	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農道の整備推進により、インフラの強靱化を進め、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
農道の整備・補修(地元要望)に対する整備率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①農道整備県補助事業
静岡県単独による振興山村地域及び過疎地域等を対象とした補助事業を活用し、農道整備を行い、農業機械の搬入による生産性向上及び農作物輸送による荷痛み等を防止し農業経営の安定を図る。(県:50%、市50%)
- ②農道整備市単独事業
国・県の補助事業とならない小規模な農道の整備工事および路面補修等の維持修繕工事を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

農道維持・改良工事及び耐震対策工事を実施したことにより、農作物運搬での荷痛み防止が図られ、また、大型農機具の搬入が可能となり、農作物輸送の合理化と農業経営の安定が図られた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

優先箇所を選定し、整備・更新の緊急度が高い箇所から予算の範囲内で実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

事業の必要性等の施工箇所の優先順位づけにより事業実施を行うとともに、農道に築造された橋梁や擁壁等の重要構造物の耐震対策を計画的に実施していく。

事業シート (事業名) 農業農村施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

土地改良事業により整備された施設の適切な整備、補修等により、施設の目的を的確に捉えた維持管理を行う。

◇事業の概要

- ①揚排水施設・樋門維持管理事業: 排水機場・揚水機場・樋門を適切に維持管理し、湛水被害を防止する。
- ②揚排水施設維持管理助成事業: 土地改良区及び水利組合が管理する揚・排水機場の維持管理を支援する。
- ③土地改良施設維持管理適正化事業: 土地改良施設老朽化対策のための総合的な計画により整備補修を行う。
- ④農村公園維持管理事業: 地域の生活空間の憩いの場である農村公園の管理を実施する。
- ⑤田園空間施設維持管理事業: 農村区域の伝統的農業施設や農村環境の豊かな自然情報発信のため、奥浜名湖田園空間博物館総合案内所及びみかんの里資料館を適正に管理運営する。
- ⑥農業農村改善センター維持管理事業: 指定管理者制度に基づき、農村環境改善センター(西区伊佐地町)を適正に管理・運営することにより、農村地域の住民等の健康保持及び生活向上を図る。
- ⑦土地改良施設地理情報システム管理事業: 土地改良施設情報を地理情報システムにて一元管理を行い、施設の適正な維持管理を図る。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S47	-	一般会計	自治事務(その他)	土地改良法、農村公園条例ほか	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	175,083	220,516				
	決算	167,781					
	国・県支出		23,750				
	市債						
	その他	30,645	20,029				
	一般財源 一般会計繰入金	137,136	176,737				
人件費(報酬等)(千円)		6,638					
人件費(千円)		52,290	49,430				
人工	正規	5.55	5.05				
	再任用(h31)	2.1	0.8				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.1	4.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

土地改良施設の維持管理及び更新により、インフラの強靱化を進め、水利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①揚排水施設・樋門維持管理事業:排水機場・揚水機場・樋門を適切に維持管理し、湛水被害を防止する。
- ②揚排水施設維持管理助成事業:土地改良区及び水利組合が管理する揚・排水機場の維持管理を支援する。
- ③土地改良施設維持管理適正化事業:土地改良施設老朽化対策のための総合的な計画により整備補修を行う。
- ④農村公園維持管理事業:地域の生活空間の憩いの場である農村公園の管理を実施する。
- ⑤田園空間施設維持管理事業:農村区域の伝統的農業施設や農村環境の豊かな自然情報発信のため、奥浜名湖田園空間博物館総合案内所及びみかんの里資料館を適正に管理運営する。
- ⑥農業農村改善センター維持管理事業:農村地域の住民等の健康保持及び生活向上を図る。

・事業の成果と課題

指標の達成度

各施設について、計画に従って整備、補修等を行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・保守・点検業者との連絡調整や、施設巡視により修繕等の必要な箇所の把握に努め、予算の範囲内で対策工事を実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・排水機場の運転は地域住民に委嘱し実施しているが、高齢化等により引き受け手が年々減少している。また集中豪雨の頻発によりその負担も増加している。このため、業者委託による実施を検討する必要がある。

事業シート (事業名) 農業基盤整備国庫補助事業

◇事業目的・事業対象

競争力ある「攻めの農業」を実現するため、地域の実情に応じて敏速かつきめ細やかな区画拡大等の農地の整備、老朽施設の更新等の農業水利施設の整備を実施することにより、農地の大区画化、担い手への農地集積を加速させる。

◇事業の概要

浜松3期地区(R1~R3)

農道整備 3箇所

- ・北岡農道(北区引佐町)
 - ・雄踏781号農道(西区雄踏町)
 - ・雄踏784号農道(西区雄踏町)
- (負担割合:国50%、市50%)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務	農業基盤整備促進事業実施要綱	○	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	25,000	34,400				
	決算	31,496					
	国・県支出	15,748	20,000				
	市債						
	その他						
	一般財源	15,748	14,400				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		2,800	2,800				
人工	正規	0.4	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

農地や土地改良施設の整備推進により、インフラの強靱化を進め、水利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
農業基盤整備国庫補助事業を活用した農道整備延長(m)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	—	1180	1180	1180	1180	1180	1180
実績値	—	750					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
農業基盤整備国庫補助事業を活用した用水路整備延長(m)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1440	1870	1350	1350	1350	1350	1350
実績値	1316	1346					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

浜松2期地区(H27~H30)
排水路整備 1箇所〔決算6,496千円(うち前年度繰越6,496千円)〕
・谷津排水路(北区引佐町)

浜松3期地区(R1~R3)
農道整備 3箇所〔決算25,000千円〕
・北岡農道(北区引佐町)
・雄踏781号農道(西区雄踏町)
・雄踏784号農道(西区雄踏町)
(負担割合:国50%、市50%)

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

浜松2期地区については、平成30年度に事業完了見込みであったが、地元調整の遅延により、令和2年度に完了予定となった。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

要件の緩和された本事業を活用した農作業道や用排水路の基盤整備により、管理者負担の軽減や施設の機能回復が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

要件の緩和された本事業を積極的に活用し、管理者負担の軽減や施設の機能回復が図るとともに、農地の大区画化や利用集積を推進する。

事業シート (事業名) 基幹水利施設維持管理事業

◇事業目的・事業対象

国営・県営造成土地改良施設の適切な維持管理により、農業用水の安定供給を図る。

◇事業の概要

①須部頭首工ほか管理事業

浜名湖北部地域への農業用水の安定供給のため造成された国営施設(須部頭首工、湖北揚水機場及び都田川ダム取水施設)について、当施設の操作運転業務を浜名湖北部用水土地改良区へ委託して実施する。

②基幹水利施設維持管理事業(負担金)

国営・県営造成土地改良施設の維持管理を行う広域土地改良区(浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区)に対して市が負担金を支出し、農業用水の安定供給を図る。

- ・土地改良区共有財産のうち、農業用水、工業用水、上水道用水等の共有財産部分の維持管理費に対し、農業用水分の負担金を支出
- ・広域土地改良区が管理する天竜川下流用水、三方原用水、浜名湖北部用水等の基幹的な農業水利施設の維持管理・改修等経費に対し、負担金を支出

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S47	-	一般会計	自治事務	浜松市須部頭首工管理条例	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	620,663	603,749				
	決算	581,142					
	国・県支出	28,228	32,968				
	市債						
	その他	35,829	46,228				
	一般財源 一般会計繰入金	517,085	524,553				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		9,100	10,360				
人工	正規	1.3	1.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.2				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

土地改良施設の維持管理及び更新により、インフラの強靱化を進め、水利用の効率を改善し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①須部頭首工ほか管理事業

浜名湖北部地域への農業用水の安定供給のため造成された国営施設(須部頭首工、湖北揚水機場及び都田川ダム取水施設)について、当施設の操作点検業務を浜名湖北部用水土地改良区へ委託して実施する。

②基幹水利施設維持管理負担金支援事業(負担金)

国営・県営造成土地改良施設のうち、農業用水、工業用水、上水道用水等の共有財産部分の管理費負担金を、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して支出する。

③基幹水利施設維持管理事業(負担金)

三方原用水、天竜川下流用水、浜名湖北部用水等の基幹水利施設の維持管理・改修経費について、浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に対して負担金を支出する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

①市が国から受託している国営施設(都田川ダム取水施設、須部頭首工、湖北揚水機場)の操作を浜名湖北部用水土地改良区へ委託することにより、農業用水を浜名湖北部地域の樹園地等へ安定的に供給することができた。

②三方原用水、天竜川下流用水、浜名湖北部用水等の基幹水利施設の農水・工水・上水の共有部分について、農水分の管理費用を浜松土地改良区及び浜名湖北部用水土地改良区に負担金として支出した。

③土地改良施設の維持管理のため負担金を支出することで施設の管理が適切に行われ、市内各地の耕作地へ農業用水を安定的に供給することができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

基幹水利施設の維持管理に必要な費用を賄うため、各土地改良区に対する負担金の支出を継続し、支援していく。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

須部頭首工ゲートを始め、基幹水利施設の老朽化が進んでいることから、今後塗装工事など、計画的に補修を行っていく。

事業シート (事業名) ふるさと・水と土基金積立金

◇事業目的・事業対象

「浜松市ふるさと・水と土基金」を、ふるさと・水と土保全事業等へ充当することで、地域環境の保全及び地域活性化を図る。

◇事業の概要

ふるさと・水と土基金を活用し、ふるさと・水と土保全事業を行う。
 本基金は、平成5年に「ため池や用水路等の機能を維持するために地域住民の活動等を促進することを目的に、市町村の基金の設置に要する経費」として地方交付税を基金としたものである。
 土地改良施設等の地域資源の保全及び活用を通して、農村地域の活性化を図るため、「浜松市ふるさと・水と土基金」について、基金の運用利子を補助事業へ充てるとともに、農村公園愛護会への報奨金、農村公園の維持修繕費の財源とし、不足分を基金取崩により対応している。
 ○令和元年度末残高 102,774,400円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H5	-	一般会計	自治事務	ふるさと・水と土基金条例	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	0					
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他						
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

土地改良施設を維持管理し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
-							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
-							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
-							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
-							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
-							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

ふるさと・水と土基金を活用し、運用利子によりふるさと・水と土保全事業を行う。
 本基金は、平成5年に「ため池や用水路等の機能を維持するために地域住民の活動等を促進することを目的に、市町村の基金の設置に要する経費」として地方交付税を基金としたものである。
 土地改良施設等の地域資源の保全及び活用を通して、農村地域の活性化を図るため、「浜松市ふるさと・水と土基金」について、基金の運用利子を補助事業へ充てるとともに、農村公園愛護会への報奨金、農村公園の維持修繕費の財源とし、不足分を基金取崩により対応している。
 ○令和元年度末残高 102,774,400円

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

「浜松市ふるさと・水と土基金」の運用収入を財源とし、ふるさと・水と土保全事業を実施する活動団体に対して、補助金を交付することで、農村地域の活性化と環境維持が図られた。また、農村公園愛護団体への報奨金、農村公園の維持管理費の財源とし、農村公園の植栽の剪定、遊具の安全点検等を実施し農村地域の生活環境の保全を図ることができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

基金事務に係る、一部の定例的な処理については正規職員から非常勤職員への変更を継続した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・ふるさと・水と土保全事業の実施により、農村地域の活性化と環境維持が図られていることから、「ふるさと・水と土基金」を存続させるとともに、今後も、ふるさと・水と土保全事業費補助金、農村公園愛護団体への報奨金、施設の修繕費の財源とし、公園を維持していく。

令和2年度

(管理番号)
01 02 03 03 001720000 11

(担当課)
農地整備課

(責任者)
前田 英和

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金積立金

◇事業目的・事業対象

「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」を活用し、かんがい排水事業や補償事業の資金に充てるとともに、基金の運用から生じる利子を積み立てる。

◇事業の概要

昭和41年、電源開発株式会社が行った水窪発電所新設工事に伴い、気田川上流(門桁地内)からの取水に対しての補償金として、168,000,000円を受けた。これを「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」として活用し、補償対象地域の土地改良施設の動力費等に充てるとともに、基金の運用から生じる利子を積み立てる。

○令和元年度末残高 2,146,086円

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S41	R6	一般会計	自治事務	浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金条	—	—	—

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1	1				
	決算	1					
	国・県支出						
	市債						
	その他	1	1				
一般財源							
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		280	280				
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.1	0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.4	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

土地改良施設を維持管理し、農業生産性及び所得を増やすことにより、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

昭和41年、電源開発株式会社が行った水窪発電所新設工事に伴い、気田川上流(門桁地内)からの取水に対しての補償金として、168,000,000円を受けた。これを「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」として活用し、補償対象地域の土地改良施設の動力費等に充てるとともに、基金の運用から生じる利子を積み立てる。

○令和元年度末残高 2,146,086円

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」を財源として、春野地区におけるかんがい用ポンプ施設(揚水機場等)を適切に管理することができた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

定例的な処理については正規職員から非常勤職員へ変更を継続し事務処理を行っている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・春野地区のかんがい用ポンプ施設を適切に管理するため、現状どおり「浜松市旧春野地域自治区水窪ダム取水工事補償基金」を財源としていく。
- ・施設の維持管理のため、毎年度基金を取り崩しており、4～5年後には基金残高が無くなる見込みである。

事業シート (事業名) 農業農村振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	7,663	4,008				
	決算	7,186					
	国・県支出						
	市債						
	その他	4,578					
人件費(報酬等) (千円)	一般財源	2,608	4,008				
	一般会計繰入金						
人工	人件費 (千円)	7,700	7,700				
人工	正規	0.7	0.7				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート (政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 農業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

基幹的な担い手の育成・確保等を支援し、更なる産地力の高い農業の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑩不平等	⑪都市	⑫生産・消費			
-----	-------	--------	----------	------	-----	--------	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	389,271	3,253,699				
決算	402,587					
人件費(A)	82,500	91,120				
報酬(B)	470					
年間経費(予算又は決算+A+B)	485,557	3,344,819				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
野生鳥獣(浜松市鳥獣被害防止計画に定める対象鳥獣)による農作物被害金額	万円	目標	3,499	3,324	3,158	3,000	2,850	2,707
		実績	4,359					
環境保全型農業直接支払交付金の対象面積	アール	目標	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
		実績	6,593	6,626				
中山間地域直接支払 協定農用地面積	ha	目標	1,321	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
		実績	1321					

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

基幹的な担い手を育成・確保等を支援し、更なる産地力の高い農業の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開する。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
・防止計画に基づく捕獲と併せて大規模防護柵の設置等の防護の取組を実施している。高齢化や過疎化で対策が困難な地域では、鳥獣被害対策実施隊のさらなる活用や、ICTを活用した捕獲手法等の研究を進める。	
・環境保全型農業直接支払事業は、利用面積、事業費とも増加しており、環境保全型農業に取り組みされている面積は増えていると判断できる。	
・中山間集落協定における農用地面積については目標を達成しているが、中山間地域は高齢化が顕著であり、事業の継続的実施が不可欠である。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	生産・経営基盤強化事業					107,195	92,955	1.8	0.3		0.2	
2	農産物生産振興事業			○		3,025,294	3,000,714	3.1	0.8			
3	農業パイオセンター維持管理事業					29,499	12,699	2.0			1.0	
4	環境保全型農業振興事業					19,409	6,329	1.4	0.6		0.4	
5	市民に親しまれる農業推進事業					886	526		0.1			
6	中山間・山間地域振興事業			○		144,482	135,722	1.2	0.1			
7	農業振興運営経費(一般諸経費のみ)					18,054	4,754	1.9				
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,344,819	3,253,699	11.4	1.9		1.6	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 生産・経営基盤強化事業

◇事業目的・事業対象

野生鳥獣による被害を最小限に抑制し、農業の振興を図ることを目的とする。

◇事業の概要

- ・動物被害対策事業
農業者等が実施する電気柵設置等の鳥獣被害対策に要する経費の一部を補助する。
- ・野生動物捕獲事業
有害鳥獣の捕獲に対する報奨金を交付する。
- ・浜松地域鳥獣被害対策協議会に対する支援(負担金)
鳥獣被害防止総合対策交付金(国庫)を活用し、被害の実態を把握し、地域の実情や要望に応じた様々な対策を集落の住民とともに複合的に実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S36	-	一般会計	自治事務(その他)	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業推進交付金交付要綱	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	77,061	92,955				
	決算	76,033					
	国・県支出	35,454	49,510				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	40,579	43,445				
人件費(報酬等)(千円)		470					
人件費(千円)		11,600	14,240				
人工	正規	1.4	1.8				
	再任用(h31)	0.5	0.3				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.2				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困	○ 2.3, 2.4	⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

②農業生産性、農業所得、持続可能性を向上する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
野生鳥獣(浜松市鳥獣被害防止計画に定める対象鳥獣)による農作物被害金額(万円)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	3,579	3,499	3,324	3,158	3,000	2,850	2,707
実績値	3,479	4,359					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①農作物被害対策支援事業 [決算76,033千円]

・動物被害対策事業

農業者等が実施する電気柵設置等の鳥獣被害対策に要する経費の一部を補助する。

・野生動物捕獲事業

有害鳥獣の捕獲に対する報奨金を交付する。

・浜松地域鳥獣被害対策協議会に対する支援(負担金)

鳥獣被害防止総合対策交付金(国庫)を活用し、被害の実態を把握し、地域の実情や要望に応じた様々な対策を集落の住民とともに複合的に実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・本年度動物被害対策事業では見込みを上回る要望があり、市民への周知と事業の活用が十分になされていない。また、浜松地域鳥獣被害対策協議会の活動についても、鳥獣被害対策実施隊員の活動により、各地域の細かなニーズを拾い上げることができた。

・被害が大きく過疎化と高齢化が進行している地域では、対策に取り組むための資金力や体力・意欲が無くなり耕作自体が放棄されかねない状況となっている。

・獣害に対する直接的な対応だけでなく、地域内外における対策のリーダーとなる担い手を育成する活動を推進する工夫が求められる。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・防護及び捕獲の両活動を市単独事業及び国庫事業を活用した事業の実施により推進した。
- ・防護活動の地域のリーダーとなる担い手として、平成29年度から鳥獣被害対策実施隊を組織し、地域に根差す活動を開始した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・平成29年度に活動を開始した「鳥獣被害対策実施隊」は、これまでの防護対策の効果維持を目的としていたが、今後は捕獲活動の担い手として活動内容の拡大を検討する。
- ・市内で捕獲された野生イノシシの防疫指示に従った適正処理を奨励するための奨励金を新設する。
- ・間接的であっても被害の減少につながるような他事業との連携を検討する。

事業シート (事業名) 農産物生産振興事業

◇事業目的・事業対象

全国有数の農業産出額を誇る「はままつ農業」の生産を維持・発展させると共に販路拡大を図るため、果樹・花き・茶等、多様な農産物の生産振興及びブランド化を推進する。

◇事業の概要

①生産振興活動支援事業

全国有数の農業産出額を誇る本市農業の生産を維持・発展させていくため、消費者ニーズの把握とともに認知度の向上を図り、農業振興を推進する。

- ・GAP等認証取得支援事業
- ・農産物振興団体への負担金交付 (浜松市茶振興協議会、世界緑茶協会)
- ・農産物振興団体の事務局としての各種振興事務 (浜松市茶振興協議会、浜松市果樹振興協議会)

②施設整備等支援事業

全国有数の農業産出額を誇る本市農業の生産を維持・発展させていくため、施設整備等の支援による産地の競争力の向上を図り、農業振興を推進する。

- ・産地パワーアップ事業(国事業)の支援事務
- ・強い農業づくり交付金事業(国事業)の支援事務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S51	-	一般会計	自治事務(その他)	産地パワーアップ事業実施要綱	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	150,161	3,000,714				
	決算	170,556					
	国・県支出	169,074	2,749,288				
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	1,482	251,426				
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		20,740	24,580				
人工	正規	2.5	3.1				
	再任用(h31)	0.9	0.8				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3, 2.4	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ② 農業生産性、農業所得、持続可能性を向上する
- ⑧ 農業分野の雇用創出、イノベーションを促進する
- ⑩ 有機JAS等の取得を促進する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
浜松市の農業産出額(億円) ※農水省が公表する推計値					-	-	-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	634	634	634	634	634	634	634
実績値	486.7	R3.4頃確定					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①生産振興活動支援事業 [決算1,482千円]
 - ・農産物振興団体への負担金交付
(浜松市茶振興協議会、世界緑茶協会)
 - ・農産物振興団体の事務局としての各種振興事務
(浜松市茶振興協議会、浜松市果樹振興協議会)
 - ・その他農産物振興事務
- ②施設整備等支援事業 [決算169,074千円(うち前年度繰越32,450千円)]
 - ・産地/パワーアップ事業
 - ・強い農業づくり事業
 - ・その他国・県補助事業の支援事務
(国)果樹・茶経営安定緊急対策事業、(国)産地活性化総合対策事業、静岡県農業振興基金協会助成事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新年お茶初売りで使用する葉を、事前に秋葉神社で熟成することで高貴なストーリーを付加し、年間を通して浜松市の茶の魅力を発信できた。
- ・市内料理人を審査員に迎えて「浜松お茶のコンテスト」を実施した。表彰式とあわせ試食会を実施するなど、新たな取組みができた。
- ・令和元年度に実施したパワーアップ事業では、集出荷貯蔵施設整備1件、集出荷貯蔵施設及び農産物加工処理施設整備1件の産地の取組を支援し、農業振興を図った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・浜松市品評会を一新し、浜松お茶のコンテストとして、市内料理人を審査員に迎え、一般に消費者に売ってお茶で、消費者目線に立った形で実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・お茶コンテストをよりよい形で実施するよう検討していく。
・市内の要望を受け、産地パワーアップ事業・強い農業づくり事業(国庫)を推進する。

事業シート (事業名) 農業バイオセンター維持管理事業

◇事業目的・事業対象

地場特産物の生産振興と多様化する農産品に対応するため、付加価値のある高品質な優良品種の研究開発の拠点となる農業バイオセンターの適切な維持管理を実施する。

◇事業の概要

- ・優良種苗等の研究開発
組織培養技術等を用い、組織培養苗の作出研究等を行う。
- ・培養苗の供給
浜松市園芸協会が市内農協を通じて農業者に供給する。
- ・農業バイオセンター施設の維持管理
施設の適正な管理のため、保守点検業務委託や施設の修繕等を実施する。
- ・センターPR事業
学校農園等甘藷培養苗提供事業を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H4	-	一般会計	自治事務	-	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	10,333	12,699				
	決算	8,875					
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,064	2,085				
	一般財源	6,811	10,614				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		16,800	16,800				
人工	正規	2.0	2.0				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	1.0	1.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困	○ 2.3, 2.4	⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

② 農業生産性、農業所得、持続可能性を向上する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
組織培養技術等による優良種苗や無病苗等の供給数(株)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	120000	120000			120000		120,000
実績値	108458	88268					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①農業バイオセンター維持管理事業 [決算8,875千円]
- ・優良種苗等の研究開発及び原苗提供
クルクマ培養苗、在来ジャガイモ培養苗の生産方法の研究を行う。
 - ・培養苗の供給
浜松市園芸協会が市内農協を通じて農業者に供給する。
 - ・農業バイオセンター施設の維持管理
施設の適正な管理のため、保守点検業務委託や施設の修繕等を実施する。
 - ・センターPR事業
学校農園等甘藷培養苗提供事業により、培養した甘藷のつる約1,000本を市内の学校等に提供する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

- ・令和元年度に浜松市園芸協会が供給した培養苗は前年度よりも20,190株減少し、目標数量の120,000株に対し、88,268株となった。
- ・8作物500株の原苗を浜松市園芸協会に提供した。
- ・学校農園等甘藷培養苗提供事業により、市内10団体(小中学校ほか)に700本の甘藷苗(つる)を提供した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・園芸協会と協議し、令和元年度に市が提供する原苗数を500株にした。
- ・昨年度に引き続き園芸協会と協議し、使用電気量の削減に取り組み、前年とほぼ同程度の使用量に抑えることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・農業者の高齢化等による甘藷培養苗の供給量減少を見据え、他作物の供給数量の増加を図る。特に、ガーベラ培養苗については令和元年度実績17,860株から令和3年度には30,000株の供給を目指す。
- ・学校農園等甘藷培養苗提供事業について、苗の募集時期を前倒しすることにより、希望校及び希望数量の増加を図る。
- ・試験研究により培養苗の供給品目数の増加を図る。

事業シート (事業名) 環境保全型農業振興事業

◇事業目的・事業対象

化学肥料や家畜ふん尿、農薬による環境への影響などが心配される。環境に配慮した農業生産活動や有機質資源のリサイクル化など持続可能な農業を推進し、環境保全対策に取り組む。

◇事業の概要

- ・環境保全型農業振興事業
 環境保全型農業直接支払事業において、環境保全に効果の高い営農活動を促進するため、国・県・市が一体となって減化学農薬・減化学肥料で農業を行っている農業者に対し掛かり増し経費等の軽減を図る。(10aあたり支援単価: 国6千円、県3千円、市3千円)
- ・ヤギ等環境保全型除草支援事業
 ヤギ等による農地における環境負荷に配慮した放牧除草の普及を支援する。
- ・事務局としての環境保全型農業推進事務
 (浜松市環境にやさしい農業推進協議会)
- ・消費・安全対策事業
 国の消費・安全対策交付金のメニューを活用し、IPMを実践する団体に対し助成を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H14	-	一般会計	自治事務	食料・農業・農村基本法	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	6,110	6,329				
	決算	6,032					
	国・県支出	3,904	4,329				
	市債						
	その他						
	一般財源	2,127	2,000				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		13,040	13,080				
人工	正規	1.4	1.4				
	再任用(h31)	0.9	0.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.4	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.4
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生	○ 6.3	⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション	○ 9.4		

・事業とゴールの関連性

- ② 農業の持続可能性を向上する
- ⑥ 農薬等による環境負荷を低減し水質改善を図る
- ⑨ 環境に配慮した農業の普及を促進する
- ⑫ 農薬等による環境負荷を低減する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
環境保全型農業直接支払交付金の対象面積(アール)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
実績値	6,593	6,626					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①環境保全型農業振興事業 [決算6,032千円]

・環境保全型農業振興事業

環境保全型農業直接支払事業において、環境保全に効果の高い営農活動を促進するため、国・県・市が一体となって減化学農薬・減化学肥料で農業を行っている農業者に対し掛かり増し経費等の軽減を図る。

・エコファーマー活動総合支援事業

土づくりと化学肥料・農薬の低減を一体的に行う持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画の認定事務を実施する。

・ヤギ等環境保全型除草支援事業

ヤギ等による農地における環境負荷に配慮した放牧除草の普及を支援する。

・浜松市環境にやさしい農業推進協議会への負担金交付及び事務局としての環境保全型農業推進事務

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

・環境保全型農業直接支払事業は、利用面積、事業費とも増加しており、環境保全型農業に取り組みられている面積は増えていると判断できる。

・エコファーマーの新規取得者がいる一方、離農者を含め、更新辞退者がそれを上回った。エコファーマーの取得をメリットにできていないことや高齢化、後継者不足が課題となっているため、今後もこの傾向が続くと見込まれる。

・ヤギ等環境保全型除草事業費補助金については、50a程度の面積に導入され、除草面積は今後も増える見込みである。また、副次的な効果として家畜飼養・防疫に関する理解が促進された。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・環境保全型農業直接支払事業は、利用面積、事業費とも増加しており、環境保全型農業に取り組まれている面積は増えていると判断できる。
- ・エコファーマー認定数は、主に「高齢化で跡継ぎがない」という理由から減少している。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ヤギ等環境保全型除草事業は事業の効果を検証しつつ継続する。
- ・環境保全型農業直接支払事業については、農業者の意向を踏まえ、引き続き生産活動の支援を図る。

令和2年度

(管理番号)
01 02 03 04 001715000 05

(担当課)
農業振興課

(責任者)
豊田 周一

(基準日)

令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 市民に親しまれる農業推進事業

◇事業目的・事業対象

多様化する余暇対策として、憩いの場の提供及び農業に触れ合う場の提供をする。

◇事業の概要

①農業施設維持管理事業

地域活性化のため設置した農業施設(公衆トイレ及びイベント用スペースを備えた駐車場)の適切な維持管理を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S52	-	一般会計	自治事務	第三期山村振興農林漁業対策事業費実施要領	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	518	526				
	決算	456					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	456	526				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		360	360				
人工	正規						
	再任用(h31)	0.1	0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓		⑪都市	○ 11.a
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

⑪農村部の振興を支援する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

①農業施設維持管理事業 [決算456千円]

地域活性化のため設置した農業施設(公衆トイレ及びイベント用スペースを備えた駐車場)の適切な維持管理を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・農業施設が地域コミュニティーの場としての良好に活用できるような、適切な維持管理を行うことができた。
- ・隣接する農産物直売施設の運営団体と連携をとり、適期に適正な管理をしていくとともに、老朽化する施設の早期予防対策をしていく。
- ・トイレ清掃業務は、併設する直売所の運営団体のボランティアにより継続して実施。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・交流人口の増加により施設使用者は増加している。使用頻度の増加により施設の建具や水洗トイレの給水器具等に不具合が出ているが、早期発見により良好な環境に復旧ができています。また修繕経費負担の軽減に努めている。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・今後も適正な管理をしていくとともに、施設の不具合に対し早期予防対策を継続していく。

事業シート (事業名) 中山間・山間地域振興事業

◇事業目的・事業対象

中山間地域は、経営耕地が急峻・狭小なため生産条件が不利である。このため、農業の近代化、高付加価値化を進め、農業生産活動を持続できるよう支援する。

◇事業の概要

①中山間地域等農業振興交付金事業

条件不利な農用地を耕作する農業者等が農地・道路・水路等の適正な管理の方針を定め、農業生産体制や活動について集落として協定を締結し、5年間以上継続して活動する農業者等に対し農地の傾斜度や面積等に応じて交付金を交付する。

②山間地域農業生産活動助成事業

農業の近代化等により農作業の軽減化及び多品種の作物生産と高付価値型農業の普及等を図り、農業生産活動を継続しようとする農業者に対し支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H17	-	一般会計	自治事務	食料・農業・農村基本法	-	-	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	129,609	135,722				
	決算	126,459					
	国・県支出	90,548	94,090				
	市債						
	その他						
	一般財源	31,011	31,632				
一般会計繰入金		4,900	10,000				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		6,660	8,760				
人工	正規	0.9	1.2				
	再任用(h31)	0.1	0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	○ 10.3
②飢餓	○ 2.3, 2.4	⑪都市	○ 11.a
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生		⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用	○ 8.3	⑰実施手段	
⑨イノベーション			

・事業とゴールの関連性

- ②農業生産性、農業所得、持続可能性を向上する
- ⑧中山間地域の農業の雇用創出、イノベーションを促進する
- ⑩中山間地域の農業の所得向上を図る
- ⑪中山間地域の振興を支援する

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
中山間地域直接支払 協定農用地面積(ha)					-		-
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	1,318	1,321	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300
実績値	1,321	1,321					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①中山間地域等農業振興交付金事業 [決算121,470千円]
 条件不利な農用地を耕作する農業者等が農地・道路・水路等の適正な管理の方針を定め、農業生産体制や活動について集落として協定を締結し、5年間以上継続して活動する農業者等に対し農地の傾斜度や面積等に応じて交付金を交付する。
- ②山間地域農業生産活動助成事業 [決算4,989千円]
 農業の近代化等により農作業の軽減化及び多品種の作物生産と高付価値型農業の普及等を図り、農業生産活動を継続しようとする農業者に対し支援する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・中山間地域等農業振興交付金事業は、27年度から第4期対策がスタートし、令和元年度は40集落が協定を締結している。
- ・集落の高齢化やリーダー不足が課題となっている。活動の継続が困難である中山間地域の多面的機能を維持するためには、本交付金を活用し、農業生産活動等を維持していくことが必要不可欠であり、引き続き交付金事業を継続する。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

①中山間地域等農業振興交付金事業

生産条件の不利な山間地域において、交付金を活用し、農業者が農地・道路・水路等の適正な管理のもと、適切な農業生産活動を実施することで、多面的機能の維持・発揮に貢献した。

②山間地域農業生産活動助成事業

山間地農業の適切な農業生産活動の継続・発展の支援により、山間地域の生産振興や産地維持が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

①中山間地域等農業振興交付金事業

中山間地域では、高齢化、耕作放棄地の増大、水源涵養等多面的機能の低下に伴う災害等の発生が危惧されるため、交付金事業の継続によりそれらを防止し、適切な農業生産活動等の継続を図る。

②山間地域農業生産活動助成事業

ソフト事業・ハード事業の両面により、生産者自らの生産技術の向上や所得向上に繋がる取組を支援する。

事業シート (事業名) 農業振興運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	15,479	4,754				
	決算	14,177					
	国・県支出						
	市債						
	その他	10,553					
人件費(報酬等)(千円)	一般財源	3,625	4,754				
	一般会計繰入金						
人件費(千円)		13,300	13,300				
人工	正規	1.9	1.9				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

政策シート

(政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 農地・農業用施設災害復旧費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

暴風、洪水、高潮、地震等の異常な自然現象によって起こる農地、農業用施設の損害を原形に復旧する災害復旧事業を実施して、農業の維持を図り、その経営の安定化を図る。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑬気候変動					
-----	-------	----------	-------	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	195,000	100,000				
決算	170,686					
人件費(A)	5,610	5,530				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	176,296	105,530				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
災害復旧工事着工率(%)	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

暴風、洪水、高潮、地震等の異常な自然現象によって起こる農地、農業用施設の損害を原形に復旧する災害復旧事業を実施して、農業の維持を図り、その経営の安定化を図る。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
2回の台風や3回の集中豪雨により被災した農地20地区及び農業用施設107地区の災害復旧工事を完了し、営農活動が継続できた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	農地・農業用施設災害復旧事業					105,530	100,000	0.75			0.1
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						105,530	100,000	0.75			0.1

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 農地・農業用施設災害復旧事業

◇事業目的・事業対象

暴風、洪水、高潮、地震等の異常な自然現象によって起こる農地、農業用施設の損害を原形に復旧する災害復旧事業を実施して、農業の維持を図り、その経営の安定化を図る。

◇事業の概要

- ①国庫補助事業
農地及び農業用施設(かんがい排水施設、農業用道路等)が被災を受けた場合の災害復旧事業で、国の補助が受けられるもの。
- ②市単独事業
農地及び農業用施設(かんがい排水施設、農業用道路等)が被災を受けた場合の災害復旧事業で、国の補助が受けられないもの。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S26	-	一般会計	自治事務(その他)	農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律	-	-	-

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	195,000	100,000				
	決算	170,686					
	国・県支出	23,541	25,000				
	市債		20,000				
	その他	941	1				
	一般財源	146,204	54,999				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)							
人件費(千円)		5,610	5,530				
人工	正規	0.75	0.75				
	再任用(h31)	0.1					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.1				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
①貧困		⑩不平等	
②飢餓	○ 2.3	⑪都市	
③保健		⑫生産・消費	
④教育		⑬気候変動	○ 13.1
⑤ジェンダー		⑭海洋資源	
⑥水・衛生	○ 6.4	⑮陸上資源	
⑦エネルギー		⑯平和	
⑧成長・雇用		⑰実施手段	
⑨イノベーション	○ 9.1		

・事業とゴールの関連性

暴風、洪水、高潮、地震等の異常な自然現象によって起こる農地、農業用施設の損害を原形に復旧する災害復旧事業を実施することにより、インフラの強靱化、水利用の効率改善、農業生産性及び所得を増やし、SDGsが目指す目標に寄与する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
災害復旧工事の着工率(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	100	100	100	100	100	100	100
実績値	100	100					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- ①国庫補助事業 [決算23,494千円(うち前年度繰越23,494千円)]
農地及び農業用施設(かんがい排水施設、農業用道路等)が被災を受けた場合の災害復旧事業で、国の補助が受けられるもの。
- ②市単独事業 [決算147,193千円(うち前年度繰越9,959千円)]
農地及び農業用施設(かんがい排水施設、農業用道路等)が被災を受けた場合の災害復旧事業で、国の補助が受けられないもの。

・事業の成果と課題

指標の達成度

2回の台風や3回の集中豪雨により被災した農地20地区及び農業用施設107地区の災害復旧工事を完了し、営農活動が継続できた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

台風などにより被災した農地及び農業施設の災害復旧工事の実施により機能回復が図られ営農が継続された。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

台風などにより被災した農地及び農業施設の災害復旧工事の実施により機能回復を図り営農が継続できる環境を整えるとともに、重要施設の耐震対策を実施していくとともに、大規模地震に対応できる体制を検討していく。

政策シート (政策名) 生産基盤の安定による農業振興

(予算費目名) 農地利用費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

基幹的な担い手の育成・確保等を支援し、更なる産地力の高い農業の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開する。

◇関連するSDGsのゴール

②飢餓	⑧成長・雇用								
-----	--------	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	27,546	29,950				
決算	26,544					
人件費(A)	98,200	100,200				
報酬(B)		798				
年間経費(予算又は決算+A+B)	124,744	130,948				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
担い手への農地集積率(%)	%	目標	38	41	44	47	50	50.0
		実績	32					
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

基幹的な担い手の育成・確保等を支援し、更なる産地力の高い農業の実現を図るとともに、浜松農産物の地産地消を推進し、市民へ環境に配慮した安心・安全な農産物の安定供給を図りつつ農業経営基盤を強化し、魅力ある農業を展開した。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	遅れている
------	-------

各種会議に出向くなどして、担い手への農地集積を図ったほか、農地の貸し借りに関する制度の周知と意識啓発活動を行った。また、「人・農地プランの実質化」に向け、地域農業の現状を把握するためのアンケート調査を実施した。政策指標である担い手への農地集積率については目標達成に至らなかったが、今後、アンケート結果を基に実施する「人・農地プランの実質化の話合い」を通して、地域農業の課題や将来像を農業関係者が共有することで農地の有効利用の意識を高め、ひいては、国が推進する「農地中間管理事業」を中心とした農地の流動化を促進し、担い手への集積を図る。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	農地の確保と有効利用事業	○	○	○		129,859	28,861	12.2	1.0		4.0	798
2	農地利用運営経費(一般諸経費のみ)					1,089	1,089					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						130,948	29,950	12.2	1.0		4.0	798

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 農地の確保と有効利用事業

◇事業目的・事業対象

農業振興地域整備計画に基づいて農業振興地域の農用地を保全するとともに、農業経営基盤を強化する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.49】

■担い手への農地集積推進事業

農地中間管理機構を利用した農地の貸借を促進し、農地の集積を進める。

■農業振興地域制度管理事業

農振法に基づき、概ね5年ごとに実施する基礎調査の結果に基づいて農業振興地域整備計画を変更するとともに、農業振興施策の方向性等を決定し、市の産業の発展と農業生産力の確保との調和を図る。また、農業振興地域における農用地区域の保全を図るための「農用地区域データ管理システム(地図情報システム含む)」を活用し、各区ごとに農用地管理を行う。

■耕作放棄地対策事業

担い手の農地集積・集約に支障となっている耕作放棄地の再生について補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S48	-	一般会計	自治事務	農業振興地域の整備に関する法律、農業経営基盤強化促進法	○	○	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	26,507	28,861				
	決算	25,645					
	国・県支出						
	市債						
	その他	149	175				
	一般財源	25,496	28,686				
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(千円)			798				
人件費(千円)		98,200	100,200				
人工	正規	12.2	12.2				
	再任用(h31)	2.0	1.0				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.0	4.0				

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓	○ 2.3,2.4	⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.3	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

優良農地の確保と農地の集積を進めることにより、食料生産者である農業者の生産性を向上させるとともに、農業生産量を増大させ、雇用創出につなげる。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
担い手への農地集積率(%)					I-1(4)ア	I-1(4)ア	49
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	36	38	41	44	47	50	50
実績値	31	32					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

【R1-R4重点戦略項目 No.49】

■担い手への農地集積推進事業

各地域における農地集積・集約検討の活動を支援するなどし、農地中間管理事業等の活用により農地の集積を進めた。

■農業振興地域制度管理事業

農振法の規定により概ね5年ごとに行う基礎調査の結果に基づき、農業振興地域整備計画の定期変更を実施した。農業振興地域における農用地区域の保全を図るための「農用地区域データ管理システム(地図情報システム含む)」を活用し、各区ごとに農用地管理を行った。

■耕作放棄地対策事業

農業委員会による農地利用状況調査をもとに作成した耕作放棄地分布図を公開し、情報提供を行った。耕作放棄地を借りて再生利用する農業者に対し、その再生費用について市単の交付金を交付し、耕作放棄地の再生を図った。

・事業の成果と課題

指標の達成度

担い手への農地集積率については38%の目標に対し、実績値32%にとどまり計画どおりには進んでいない。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・担い手への農地集積に向け、地域での話合いに積極的に参加するなどして、農地中間管理事業等の活用に努めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・令和2年度末までに行う「人・農地プランの実質化」により、地域単位で農地の有効利用の意識向上を図り、ひいては農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積につなげていく。

補助シート (事業名) 農地の確保と有効利用事業

◇【R1～R4】事業工程表(No.:重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
49	<ul style="list-style-type: none"> ・農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び利用権設定の促進) ・「人・農地プラン」の実質化に向けたアンケート実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び利用権設定の促進) ・「人・農地プラン」の実質化の完了 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び利用権設定の促進) ・必要に応じた「人・農地プラン」の修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地流動化の推進(中間管理事業の活用及び利用権設定の促進) ・必要に応じた「人・農地プラン」の修正

事業シート (事業名) 農地利用運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,039	1,089				
	決算	899					
	国・県支出						
	市債						
	その他	207	200				
	一般財源 一般会計繰入金	692	889				
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

--

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工